

なにげない感動をずっと。

FANCL

News Release

2026年1月5日

## ファンケル社長 三橋英記による年頭訓示

### 2026年はブランドマーケティングカンパニーとして真価を發揮する年 お客様の共感とつながりを通じたブランド価値向上を目指す

株式会社ファンケルの代表取締役 社長執行役員 三橋英記は2026年1月5日、年頭にあたりグループ従業員への訓示を行いましたのでご報告いたします。

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

ファンケルグループで働く直営店舗、お客様電話窓口の皆さん、年末年始の営業・ご対応、本当にありがとうございました。昨年も多くのお客様のご来店・お問い合わせに対し、皆さんが真心を込めた対応をされたことで、お客様にとってより一層身近で信頼できる存在となれたことと確信しております。心から感謝申し上げます。



株式会社ファンケル  
代表取締役 社長執行役員  
三橋 英記

当社は昨年、創業45周年という節目を迎え、キリングループの一員としての新たなスタートを切る中で、中長期的な成長を見据え「ブランドマーケティングカンパニーへの変革」に取り組みました。これは、市場やお客様のニーズが多様化する現代において、単なる製品提供にとどまらず、すべての活動が連動してブランド価値向上につながっている状態を目指すものです。そのベースとなる体制整備として、3月にはマーケティング統括オフィスの新設、10月にはブランドマネージャー制導入をはじめとする戦略統括オフィスの組織再編を実施しました。また2025年9月末時点において、売上・利益ともに前年を超える好調な結果を出すことができています。創業45周年かつキリングループの実質初年度であった2025年は、最高のスタートが切れたと感じています。

2026年は、干支では丙午(ひのえ・うま)の年にあたり、「新しいことを始めるには最適」とされ、変革の後に大きな成果を生み出す可能性を秘めています。まさにこの一年は、我々ファンケルにとって、これまで培ってきたブランド力を最大化し、社会に対して真価を発揮する重要な年になります。2026年は私たちの目指す未来を具体的に示す長期経営構想「ファンケル・ビジョン 2035(FV2035)」の初年度でもあり、その実現に向けた第一歩を踏み出す、まさに変革と成長の起点となる年です。私たちは単に製品・サービスを届けるだけでなく、お客様一人ひとりの心に響く新たな共感を獲得し、多くのお客様とのつながりを創っていきたいと思います。この共感とつながりを基盤に、ファンケルらしいユニークな戦い方を市場で展開していくたいと考えています。

「ブランドマーケティングカンパニー」としての進化をさらに加速させるため、我々全員がブランド体験の創造者となり、すべての判断・活動がブランド価値向上につながるように全員で行動していきましょう。最後になりましたが、本年がファンケルグループはもちろん、従業員の皆さんにとっても素晴らしい一年になることを祈念して、年頭の挨拶といたします。

報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 広報部／045-226-1230 [official@fancl.co.jp](mailto:official@fancl.co.jp)